

特集 聖地巡礼

阿南の遍路道

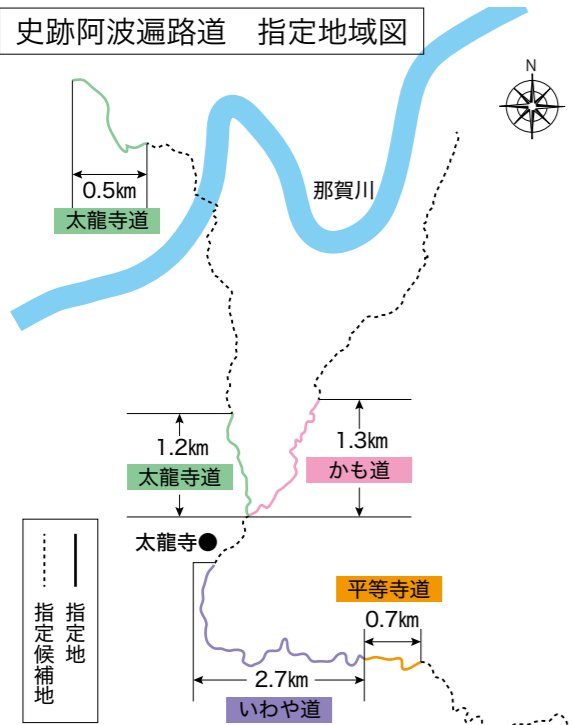
世界で注目されている遍路道

現在四国4県は「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録をめざしています。そんな中、今年4月24日に「四国遍路」が日本遺産に認定され、さらに観光庁でも「スピリチュアルな島「四国遍路」」として、今後海外へ積極的にPRする事業が始まっています。また、ニューヨーク・タイムズが選ぶ、『今年絶対に行きたい世界52カ所(2015年版)』にも日本で唯一「四国遍路」が選ばれ、国内外共に「四国遍路」は非常に注目を浴びています。普段四国に住み、お遍路を日常としてとらえている私たちにとっては、世界から注目されていることは驚きでしかありません。気づいていないだけで、私たちは非常に貴重な文化遺産の中で生活をしているのです。その中でも阿南市の遍路道は現在最も注目されています。



●阿南市の遍路道

遍路道を世界遺産にしようとする取組が平成18年から始まっています。その課題として遍路道の国史跡化があります。阿南市では平成22年に四国で初めて第20番札所鶴林寺から大井、水井町を経由し第21番札所太龍寺に向かう「太龍寺道」、太龍寺からかつてあった「龍の窟」に向かう「いわや道」が国史跡に指定されました。また平成25年に「いわや道」の延長部分と「いわや道」との分岐点からの第22番札所平等寺に向かう「平等寺道」が追加指定。さらには加茂町一宿寺から太龍寺に向かう旧遍路道「かも道」が今年追加指定されたことで、現在阿南市の国史跡距離



離数は約6・5kmとなり、四国全体でも最長の距離です(詳細は図を参照)。そして現在も追加指定をめざす取組は続いており、それは他県からも参考にされています。それでは、国史跡となった遍路道の魅力を個別に紹介します。

●「かも道」

「かも道」は今年6月に国史跡として認められ、文部科学大臣に答申された今もつとも旬な道です。「かも道」は長い距離をとおして古道としての景観を留め、沿道には四国遍路道沿いの中でも一番古い石造物(丁石)が並び建っている、まさに四国最古の遍路道です。また現在の四国八十八箇所寺院のうち、若き日の

空海修行の場として歴史上確実なのは徳島県の「太龍寺山」と高知県の「室戸岬」の2カ所だけであり、空海が実際に歩いたであろう「太龍寺山」への道筋は「かも道」であると考えられています。

つまりは四国4県の遍路道1400kmのうち、空海が実際に歩いた道で当時のままの景観を留めた道は、徳島県阿南市加茂町にある「かも道」だけであるといえます。四国遍路道の中でも「かも道」は、四国遍路の歴史・文化を物語る上で極めて重要かつ非常に貴重な道です。そしてまさに四国遍路道の聖地といえるでしょう。



(写真: 丁石)

●「いわや道」「平等寺道」

「いわや道」はおおむね等高線に沿った平坦な道です。「いわや道」沿いには江戸時代中期に建てられた舟形丁石が良好に残されています。「いわや道」を進むと二股の道が現れます。左手に進む道が「いわや道」のつづきで、右手に進む道が「平等寺道」です。分岐点には1基の手印を持つ道標があり、また「ひだりへんろ道」の文字が刻まれています。また2基の丁石と隣接して舟形の道標があり、そこにも「左

明ですが、「いわや道」の呼称は古くから使われていました。「平等寺道」は、「いわや道」から分岐する古道で、平等寺への遍路道です。昭和40年代の「龍の窟」消滅により、「いわや道」のルートが閉ざされると同時に阿瀬比集落までの「平等寺道」も廃道化してしまいましたが、昨年地域住民の力で復活した道です。

「平等寺道」は東に延びる尾根の北斜面の平坦な道を進み、尾根を越え南に緩やかに下る道をしばらく進むと急な下り坂が現れます。急坂は150mほどで、あとは下りながら阿瀬比集落へと進みます。太龍寺山を通る「いわや道」「平等寺道」は修験道・山岳修行の趣のある古道で、古来の風景を色濃く残しています。周辺には貴重な文化遺産も存在し、遍路の歴史・文化を継承する貴重な道です。

●阿瀬比からの平等寺道

阿瀬比からの平等寺道の中で今後国史跡にめざしているのが「大根峠」です。この道も峠越えの遍路道で歴史ある道標や遍路墓が見られ、竹林の中を歩く道はお遍路さんの心を癒してくれています。近年は地域住民により道の整備がなされ、遍路道の魅力を発信しています。今後注目を浴びてくる道となるでしょう。

第2回

さあ、聖地を巡ってみましょう。

あなん遍路道おもかげウオーク開催

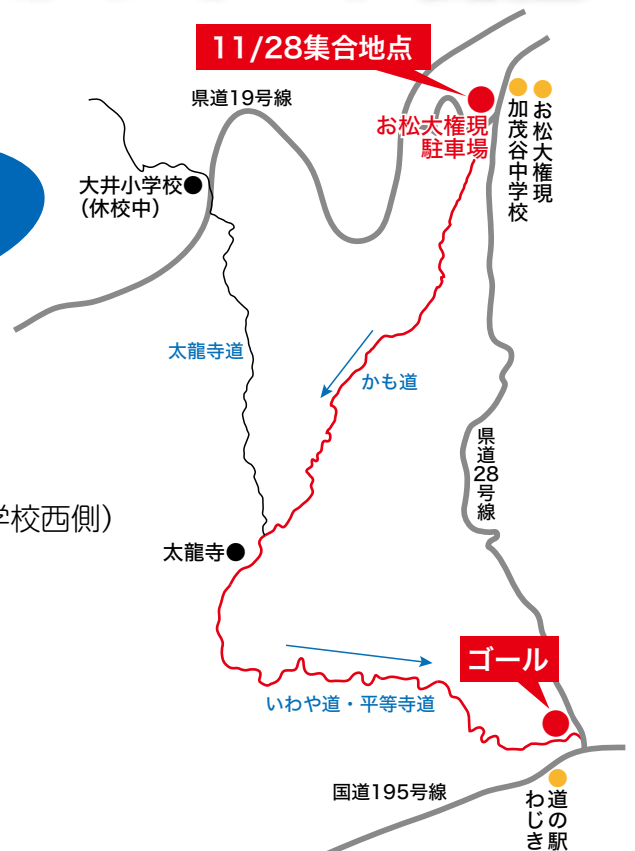
かも道・いわや道・平等寺道の
約10kmのコース

平成27年

11月28日(土)

定員80人
要申込

- 集合場所** お松大権現駐車場
住所：阿南市加茂町南不け（加茂谷中学校西側）
- 受付時間** 8:30より開始
スタート 9:00頃から
ゴール予定 15:00頃
- 参加料** 1,000円（保険料・資料・バス代等）



申込方法

往復はがきに氏名（1枚に2人まで）・住所・電話番号を記入してお申し込みください。

申込締切日／11月20日(金) ※当日消印有効
先着順・定員に達し次第、締め切ります。

申込先／阿南市文化振興課 「あなん遍路おもかげウオーク」係

往復はがきの記入

- [往信表] 〒774-0030 徳島県阿南市富岡町西池田135番地1
阿南市文化振興課 「あなん遍路おもかげウオーク」係
- [往信裏] ①お名前（1枚に2人まで）・②ご住所（申込者）・③電話番号（申込者）
- [返信表] 申込者のご住所・お名前
- [返信裏] 空白（受付シールを添付して返信します。外れた方にも通知します。）

注意事項

- 険しい山道を歩きます。十分な装備でご参加ください。
食事・飲み物等はお自身でご用意ください。
参加料は当日受付でお支払いください。
雨天時は中止となります。

問い合わせ先 加茂谷へんろ道の会 会長 横井知昭（☎090-3187-7640）または
阿南市文化振興課 「あなん遍路おもかげウオーク」係（☎0884-22-1798）へ